

# 東北地方太平洋沖地震発生後 1年間の地震活動との比較

Kato & Igarashi (2012):

F-netカタログ(NIED)から下記の地震タイプのみを抽出( 2237個 [M<sub>w</sub>≥4.0] )

- ・低角逆断層型 (25%)
- ・Downdip Compression型 (4%)

2022年3月16日(M<sub>w</sub>7.3)の地震

・2021年2月13日(M<sub>w</sub>7.1)の震央付近から破壊開始

・Downdip Comp.型の集中域の隙間を破壊

・2011年4月7日(M<sub>w</sub>7.1)と2021年2月13日(M<sub>w</sub>7.1)のCMT解と類似

・東北地方太平洋沖地震による地震時の応力変化、及び、余効変動による東西圧縮変形が継続していた可能性のある領域

*Kato & Igarashi (2012, GRL)*

